



「助け出す」より 「連れ出す」ことをまず、考える。

土砂災害など災害発生時には、いち早く安全な場所へ避難することがなによりも大切ですが、避難に要する時間はご家庭ごとに違います。

小さなお子さんやご高齢の方がいらっしゃるご家庭では、

「急ぐこと」が難しいので避難そのものに時間がかかります。

「まだ大丈夫。」ではなく、十分な余裕を持って行動していただくよう重ねてお願いします。

一方で、ご高齢の方だけのご家庭では、「まだ大丈夫。」と考え避難を先延ばしにする傾向があります*。

情報源が少ない中で、根拠があいまいなまま「危険を低く見積もる傾向がある」ことが原因です。

「危ないから避難しよう」。あなたのこのひと言で救える命があります。

※広島県内の18歳から85歳の男女を対象としたインターネット調査結果